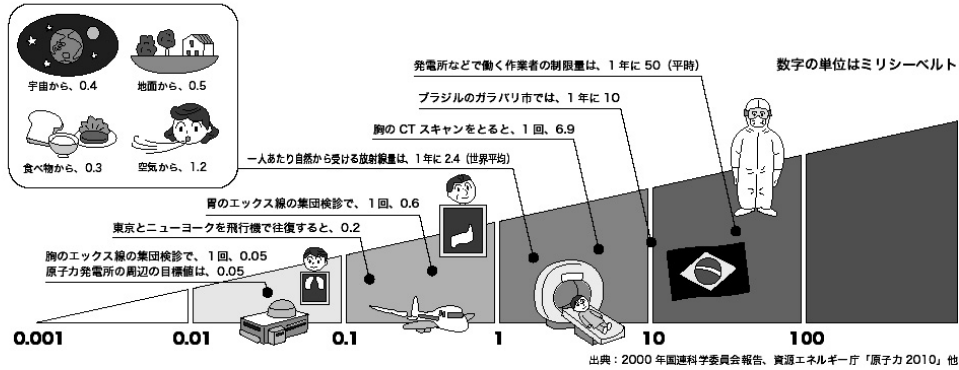


6

いろいろなところから受けている放射線の量

⑥ いろいろなところから受けている放射線の量



問題1 ()の数字をなぞり、それぞれが何ミリシーベルトぐらいなのか、確かめましょう。

- 胃の엑스線検査を1回受けると (0.6) ミリシーベルトです。
- 東京とニューヨークを飛行機で往復すると、(0.2) ミリシーベルトです。

問題2 ()の中をなぞり、人が自然から受ける放射線量(世界の平均の値)を計算しましょう。

- 宇宙から (0.4) ミリシーベルト
- 地面から (0.5) ミリシーベルト
- 食べ物から (0.3) ミリシーベルト
- + 空気から (1.2) ミリシーベルト

人が自然から受ける放射線量は、(2.4) ミリシーベルトです。

6

学習のポイント

- 放射線の量の大小に気づく。
- 量が少なければ害がない。
- 医療によっても放射線をあびていることを知る。

指導上の注意点

- 単位がミリシーベルトであることに注目させる。
- 横の目盛りが1つ増えるごとに、放射線量は10倍になっている。2目盛り右にいけば100倍強いことになる。
- 毎日あびている自然放射線の量は小さくても、年間になると量が大きくなることに気づかせる。

補足

- ①一度に大量の放射線をあびると病気になったり死亡したりすることがある。数シーベルトを超えると死亡する危険が高くなる。
- ②日本で自然から受ける放射線の量は、平均で年に2.1ミリシーベルトである。※
- ③日本では、医療被曝による放射線の量が、平均で年に3.9ミリシーベルト程度である。※

※出典：公益財団法人原子力安全研究協会「新版 生活環境放射線」より。

②福島第一原子力発電所の事故の影響は含まない。